

# ガーデンらいふ



有限会社 辰巳園 本社 〒682-0912 鳥取県倉吉市和田 309 Tel.0858-22-3892  
 支社 〒683-0845 鳥取県米子市旗ヶ崎 2-3-25 Tel.0859-22-0678  
 E-mail info@tatsumien.co.jp

## 日本の樹芸文化が国際的に広まっています。

代表取締役 加藤 一巳

日本での樹木の移植技術は、国際的に見ると非常に珍しいと言われます。その代表的なものが「根回し」です。ご存知の通り事前に根を切り戻しておき、いったん土を戻して発根させ、細根が出揃ったところで移植する。根は太いところを切られても、そこから水分や養分を吸収することはできません。先端の細根からこそ吸収できるのであって、その発根を行ってから移植する。日本の造園屋が継承すべき基本中の基本です。



しかし、近年、根回しを行うということが少なくなってきました。それは、手間をかけて移植するより、新しい樹を買ってきたほうが安い。ただそれだけの理由のように思えてなりません。実際、私たちが接する現場でも、移植する費用をかけられないから切ってしまう。なんてことは日常茶飯事です。もちろん、その対象は何年も手をかけてきた仕立物のクロマツやマキノキにも及びます。もとより、最近の住宅事情に合わないということ、剪定に手がかり維持費用がかさむといったこと、事情はさまざまですが日本の誇るこれらの樹芸文化が衰退していつているのは事実です。

輸出用 EU諸国向け盆栽 栽培地表札

栽培地番	Y-72
面積	1.65a
品別数	ゴヨウマツ盆栽 32本

写真1

↑写真1[千葉県での五葉松輸出準備] 畑入口には、この様な表札が出ている。

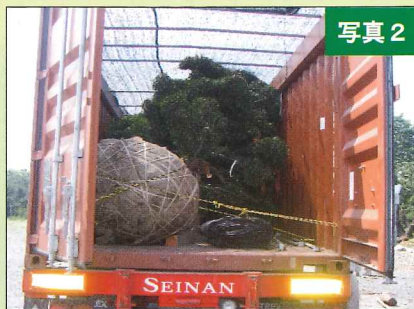


写真2



写真3

←写真3[千葉県での五葉松輸出準備] 掘り上げた樹を専用のバックに入れて、地上部で点滴灌水を行いながら、2年間の定期検疫を行ってEUへの輸出準備を行っている。奥の車と大きさを比べて頂くと、樹の大きさがわかると思います。盆栽扱いです。

←写真2[千葉県輸出コンテナ] 上部が開放されたコンテナに、樹木を混載します。船積みの際は積載の一番上に積みます。夏の時期を避けて約2週間かけて運ばれます。

ところがここ数年、変化が起きています。ヨーロッパ、中国といった地域から日本の樹木、特に仕立物のマキノキ、クロマツ、モミジの高さ6mクラスの大樹樹といったものが大型のコンテナで海外輸出されるようになったのです。鉢の大きさが、やっとコンテナに入るものもあります。さらに、マキノキの枝が入らないものは、6箇所から8箇所の割りを入れて、コンテナに入るように枝を曲げてしまいます。これは、千葉県八日市場周辺で昔から行われている、マキノキの整枝技術です。この技術も一時は仕立物のマキノキの需要低迷から、継承されずすたれる一方だったのですが、この様な海外輸出によって、再び脚光を浴びる技術になりました。現地に到着後、この曲げられた枝は元に戻されるか、お好みに曲げられます。

このように、日本の伝統文化の傑作である樹芸文化も海外に広まっています。むしろ海外の方が、その評価が高くなっていると言っても過言ではありません。もう一度、私たちは自国の文化を再認識しなければならない時に来ているのかもしれない。

→写真4  
【割りを入られたマキノキ】  
集荷されている場所で、コンテナに積み込むために枝に割りを入れて、曲げて行きます。



写真4



写真6

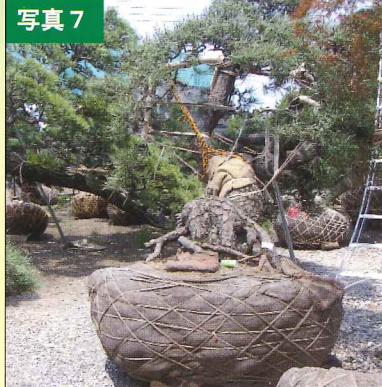


写真7

←写真5  
【積み込みを待つマキノキ】  
鉢はコンテナの幅220センチに納まるように掘り取りされている。ドラムカンの大きさから、樹の大きさがわかるように、かなりの巨木。

↑写真6  
【枝を曲られたマキノキ】  
割られた枝は、乾燥を防ぐゴムテープが巻かれ、その上から養生材を巻き、折れないように慎重に曲げられて、ロープで固定される。

↑写真7【根上がりした黒松】  
横に流れた姿はなかなかお目にかかることの出来ない品物です。こんな高級品も中国に輸出されます。



写真5

## 庭木・花木をふりして楽しみましょう



- <種を播く> 親木より性質が劣る
  - ★ドングリ系の果肉に包まれていないもの
    - ・ シイ、シラカシ、ウバメガシ、クヌギ、コナラ、ツバキ、サザンカ…乾燥させずに採種後ただちに播く。
    - ・ マツ類、スギ…採種後15~20日後に播く。
  - ★果肉に包まれているもの
    - ・ サクラ、モクレン科、ヤマモモ、モチノキ、ハナミズキ、ヤマボウシ
      - …果肉をきれいに取り除き、水洗いしすぐに播く

- <さし木> 親と同じ性質になる
  - 時期 早春挿し(2~3月) 落葉樹
  - 梅雨挿し(5~6月) アジサイ、ツツジ類
  - 夏挿し (7~8月) 常緑樹、広葉樹、針葉樹

- <とり木> 枝の一部に水ゴケを巻き発根させる方法
  - 枝を2~2.5cm幅の皮をきれいに取り除き水ゴケを巻く



観察日記をつけてみるのもおもしろそうですね。

植物と楽しく暮らすヒントをご紹介します。  
 自分で育て手をかけるとより愛着がわいてくると思います。

## 竹垣の修繕はいかがでしょう

四ツ目垣高さ70cm



5,000円/m当り 税別

竹製の垣はどうしても傷んでいきます。数年に一度は作り替えされることをお勧めします。他にも建仁寺垣、大津垣、清水垣、等もごぞいます。耐用年数はおおよそ10年ですのでかなりお得です。

## 石のテーブルはいかがでしょう



60,000円 税別

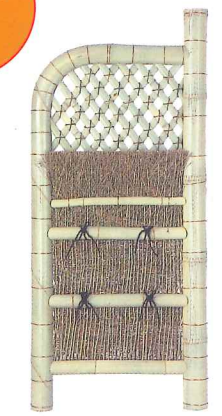


石のテーブルはおすすめですよ。ぜひこの機会に。担当:山田満

石のテーブルの大きさは2m×1mです。さらに椅子4個をサービスさせていただきます。設置作業も弊社が行いますのでご安心ください。先着順ですのでお急ぎください。  
 ※ ユニック車が使え場所に限りります。  
 ※ 金額には設置作業代も含んでいます。

## 国情豊かに演出します

天然袖垣 W750×H1750  
 おすすめ商品



通常価格 ¥56,600

↓ 今なら

特別価格 ¥46,000

## お庭に味わいをプラス

人工袖垣 W750×H1750  
 おすすめ商品



通常価格 ¥77,000

↓ 今なら

特別価格 ¥58,000

標準単価施工ですので、施工状況、使用材料等によって変動いたします。見積を無料でさせていただきますので、お気軽にお問合せください。

## よかったあ！また行きましょう庭園見学会

お蔭様で昨年の11月12日に開催させて頂きました第7回庭園見学会を無事終了することが出来ました。当日は八雲本陣、木幡山荘の庭園視察。そして来待ストーンミュージアムのオシャレなお店でフレンチ昼食、彫刻又は陶芸のプチ体験をしていただきました。「いつもと違う雰囲気の良い昼食がよかった」「プチ体験またやりたい」…等、(お庭には関係ないのですが)嬉しい声もたくさんいただきました。わきあいあいとしたバス日帰り旅行になりました。当日お越し下さった皆様、ありがとうございました。今後も皆様に喜んでいただける庭園見学会にしていく様、努力していきます。また次回のご案内がまとまりましたら、ご案内させていただきますので、よろしくお願致します。





(西部地区担当) 岡崎 一成



### 琴浦町M様邸 庭園改修工事 (茶庭作り)

母屋の一室に茶室を新しく設けられる建築工事に伴い、既存の庭の一部を茶庭に改造する工事です。アプローチは既存の平石を再利用し、不足分は三和石を利用、ポイントに御影石のパーナー仕上げ平板石5枚を配置し、柔らか味のあるアプローチとしました。

樹木については、既存の夏椿を縮小剪定して庭のポイントになるように利用し、特に茶室からの遠近感を演出出来たとします。新植樹には、軽やかな印象を与えてくれるアブラツツジ株立、ソヨゴ株立、アセビ等を選定しました。

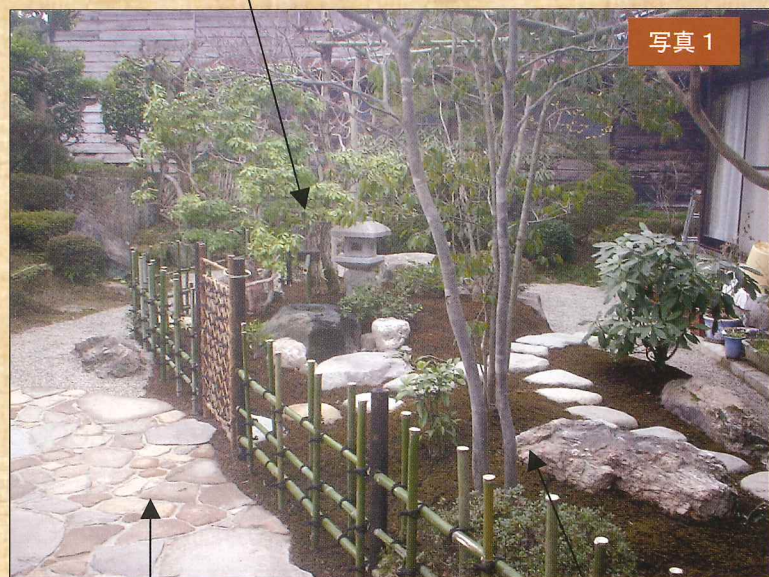
景石は四国産の景石で、将来石にも苔むす様な質のものを選り、極力目立たぬ様に、しかし力強く感じられるよう、配植、据付に注意しました。飛石は湯原産の真質石を使用しています。写真では飛石のチリ(飛石面と土の高さ)が高く見えますが、2~3年後には苔が伸びてくることを想定して、少し高めに据付けています。その他待合とカーポートの間を御簾垣によって遮蔽しております。アプローチ入口には道標灯燈のみよし型を据付けました。

外から分け隔ててつくられる静寂の空間が完成しました。日本の美的感覚が生み出す緊張感が伝わってきます。年月を重ねるごとに味わいが深まっていくのも楽しみです。

写真1 / 茶室からの景色

写真2 / 苔の中の飛石

写真3 / アプローチ周辺



つくばい周り

写真1

写真2

写真3

三和石と御影石によるアプローチ

アブラツツジ株立

御簾垣

道標灯燈

(中部地区担当) 山口 忠春



### ブライダルハウスとさき様 ミニ庭園作り

この度、施主様より駐車場奥に1m×4.5m程度の敷地を使用して和風の庭(身近な口ケ地)を作成したいとのご要望をいただきました。背景の垣は、あまり目立たないことにする事と、季節毎の雰囲気を出したいとの事でした。

そこで、背景の人工垣は清水垣を取り入れ、また既存の柱も丸竹の人工竹で覆い目立たない様に作成しました。1mの奥行きはあまりにも平面的と感じ、駐車に支障にならないよう両端を円弧状にふくらませ立体感をつくようにし常緑樹、下草、景石、シヤリを使って和風を表現しました。季節感今回は春を、柱を利用してサクラを取り入れて表現してみました。



この度は施主様のご要望から、お客様に対する店のイメージや意識までもサービスと検討され、実施されておられる姿勢に接することができ、同じ事業所として大変感銘を受けました。



(東部地区担当) 長谷川 章



### S様邸 庭園改修工事

新築に伴う造園工事で以前作ってあった庭を解体し、新たに枯山水の庭を作りました。既存の石材、樹木だけを利用した『リ・ガーデン』です。

限られたスペースでの施工でしたが土地の起伏を生かし、深山(奥手)から水が流れやがて海(手前)に注ぐというイメージで作庭しました。地形の高い位置にヒバ、カシ等を植栽してその手前には枯滝の石組みを行いました。さらに借景にモウソウ竹の竹やぶを取り入れることで、枯山水独特の静けさをもたらす庭に仕上がりました。



枯山水の庭

## お庭の管理~お庭づくりまで... 辰巳園の庭師にお任せください。

- ・ 剪定、害虫の駆除、施肥、伐採・伐根、草刈・草取、芝の管理、植栽・移植、門松製作など
  - ・ 歩きやすいバリアフリーの庭にしたい
  - ・ できるだけ管理費用が抑えられる庭にしたい
  - ・ 草がはえない庭にしたい
  - ・ 伝統的な枯山水の庭にしたい
  - ・ 家族が増えるのでカースペースをつくりたい
- などなどお庭のことでしたら、何でもご相談ください。



イメージ写真付きでご提案させていただきます!



洋風、和風を問わず、相談、見積を無料でさせていただきます!  
どうぞお気軽にお問い合わせください!

(東部担当) 長谷川 章 090-6405-1129

(西部担当) 岡崎 一成 090-9462-3646

(中部担当) 山口 忠春 090-9419-2811

又は辰巳園事務所まで (0858) 22-3892